

ユニオンファンド 月次レポート

第148号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2021年3月4日作成

MONTHLY TOPIC

信じて行う株式投資

儲かりそうだから、というのは株式投資をする理由としてよく挙げられますが、これには少なくとも二つのタイプがあると思っています。一つは安く買って高く売ることを目指す投機的な投資で、もう一つは企業の成長によって株価は上がるので結果的に儲かると考える投資です。

投機は難しいし、苦しさも伴う

値動きを捉えて儲けようとする投機的な投資は、これから皆が買うから上がるだろうと予想して、その前に買うとします。そして、皆が売らるだろうと予想してその前に売ろうとします。他人の一步先を行くことが肝心なわけですが、難しいのはライバルたちも同じことを考えていることです。彼らに勝てなければどうなるでしょうか。自分が売る前に株価が下がると売りにくくなります。損して売るのは嫌ですし、利益が減ってから売るとも癪に障ります。もしかしたら、多くの投資家が上昇相場で早売りしてしまうのは、こうした気持ちが働いて下がる前に売りたいと思うからかも知れません。

何にしても、こうしたタイプの投資では他人との競争に勝たなくてははいけません。買うときも同じで、プレッシャーがあり苦しいものです。ライバルたちはなかなか手ごわいので、自分だけ勝ち続け幸せでいるというのは簡単なことではありません。もしうまく勝てたととしても、自分の幸せは実は他人の不幸でもありますから、後味の悪さが残るかもしれません。株は儲かるから嫌いだという人もいるくらいです。

他人と未来を信じることで成功につながるやり方もある

一方、経済や企業の成長が最終的には株価の上昇につながると考えるタイプの投資家は、他人に勝つことではなく、実は他人を信じて投資することで自分も幸せになることを目指しているのだと思います。投資先の企業で働いている人たちが頑張ってくれていると信じて投資しているわけですし、その企業が提供する製品やサービスを人々が買い続けてくれると信じている、ということでもあります。カギは他人を信じられるかどうかです。

他人がこれから売ってくるのではないかと疑って先に売る、というのではなく、もし売ってくる人がいたとしても、優れた企業なら世界の人々から大事にされ成長が続くと信じ、株価が下がったとしても買う人が必ず現れると信じる。このような投資のしがいのある企業を選んで投資する――。

二つのタイプの投資のどちらをとるかは人それぞれですが、多くの人にとっては後者に分があるように思います。人々への信頼と未来への希望に基づく投資は、歴史を振り返れば十分に報われてきました。疑うのではなく信じることは、株式投資で長期的に成功するために必要な心の持ちようではないかと思っています。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2021年2月末現在)

基準価額

29,218 円

純資産総額

91 億 39 百万円

期間別騰落率(%)

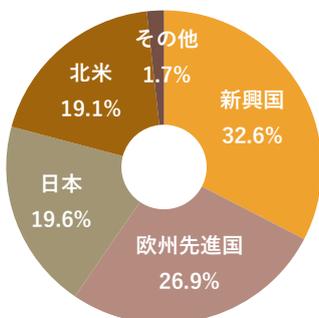
1 ヶ月	4.28%
1 年	22.08%
3 年	12.99%
5 年	56.03%
10 年	113.01%
設定来	192.18%

複利年率(%)

9.06%

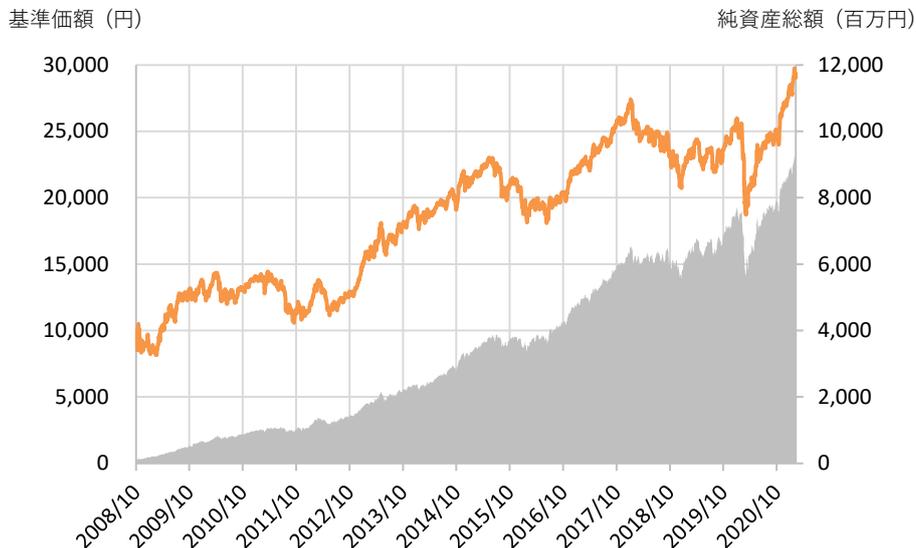
*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2021年1月末現在)

基準価額と純資産総額の推移



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	5.5%	1.4%
スパークス F	日本	11.2%	3.1%
キャピタル F	欧米	16.4%	4.4%
ハリス F	欧米	19.7%	12.7%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	9.6%	4.3%
コムジェスト・エマージング F	新興国	27.5%	1.6%
現金等	-	10.0%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2021年2月の市場動向と運用状況

投資環境

世界の株式市場は2月に入っても上昇が続きましたが、月の後半から反落しました。2週間ほどで月間の高値から5%前後値下がりする市場が多かったものの、前半の上昇が大きく、月間では総じてプラスで終わりました。

前半の好調を支えたのは、米国で追加経済対策の協議が進展する見通しとなったことです。新型コロナウイルスのワクチン接種が多くの国で進み始め、ワクチンの効果が高いことや重大な副反応が少ないとの報告が相次いだこともプラスに働きました。一方、後半の反落は、世界的な長期金利の上昇が理由に挙げられています。長期金利の上昇は、第1に景気に対してマイナスの効果を持ちます。第2に、債券利回りが高いということは、株式の配当利回りなどの魅力が相対的に落ちること、つまり株式を保有することのメリットが低下することを意味します。

為替市場では円が若干弱くなりました。主として米国の長期金利が上昇したことによると思われます。

運用の状況

基準価額は、世界的な景気回復期待を背景にハリスFが大幅に値上がりしたほか、全ファンドがプラスとなったことから上昇しました。

今月は売り買いともに見送りました。月末の組入比率は90.0%と、前月末から若干上昇しました。

今後の見通し

2月後半の株価の反落は長期金利の急上昇を警戒したのですが、金利上昇の理由は景気の本格的な回復への期待が広がったことです。いわば、景気回復予想が株価を下落させたという構図でした。米国の金融政策を司るFRBのメンバーは、ほぼ口をそろえて「利上げはまだ先」と強調しています。しかし、投資家はこれまでの想定より早く利上げが始まると予想しつつあり、米国では政策金利（FF金利）の予想が上振れしつつあります。

金利上昇による株価下落はよくある光景ですが、とはいえ気が早過ぎだと考えています。長期金利は確かに上がりましたが、米国10年国債利回りが1.5%をやや上回った程度に過ぎません。欧州ではマイナス金利の国がまだ数多く見られます。米国の実質金利（名目金利から予想インフレ率を差し引いたもの）は歴史的な低水準にとどまっており、10年物はまだマイナス圏です。これで景気の腰が折れるとは考えにくいところです。また、金利上昇が景気に大きな悪影響をもたらすなら、借金が多く社債の格付けが低い会社は苦しくなるはずですが、格付けの低いこうした企業の社債はむしろ買われており、平均した利回りは過去20年以上の最低水準にあります。

いずれ金利高が景気と株価に本当にダメージを与える時が来る可能性はありますから、金利動向は常にウォッチしておくべきポイントではあります。ただ、少なくとも今回は、債券市場内部の一時的な混乱が主因だったと思われます。株価は急反落しましたが、先行きの暗雲を察知したためというよりは、ここまでの上昇ピッチが速かったことへの冷静な警戒心が働いたことによるものと見ています。

とはいえ、調整が長引くことは絶対ないとも言えませんから、反落の可能性にも十分留意しつつ、しかし長期的には上昇相場が続くとの見通しの下、基本的にこれまで同様の運用スタンスを維持していく方針です。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



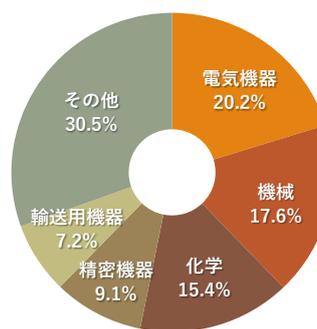
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	7.3%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 ダイキン工業	4.8%	日本	機械	エアコン世界首位
3 信越化学工業	4.3%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
4 浜松ホトニクス	4.1%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
5 TOTO	3.6%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
6 プリヂストーン	3.6%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
7 テルモ	3.5%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
8 花王	3.2%	日本	化学	トイレット首位
9 トヨタ自動車	2.7%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
10 三浦工業	2.3%	日本	機械	産業用小型ボイラー大手
上位10銘柄	39.2%	現金等	5.5%	

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年2月末現在>

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



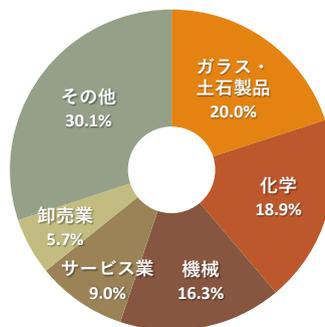
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケアHD		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業		日本	機械	産業用小型ボイラー大手
ベイクレント・コンサルティング		日本	サービス業	総合コンサルティング会社
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
日本エム・ディ・エム		日本	精密機器	人工関節など医療機器・器具
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
エフビコ		日本	化学	食品トレなど容器の大手
現金等			6.0%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年1月末現在>

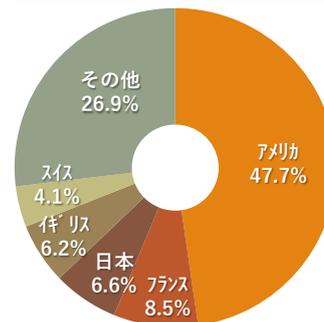
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



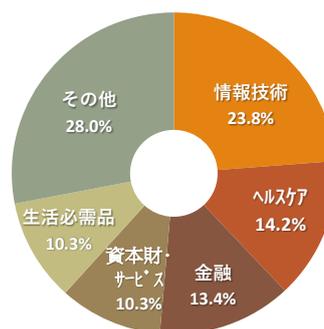
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC	3.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 ASML	2.5%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 Broadcom	2.2%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
4 AIA	1.8%	香港	金融	生保・金融サービス
5 Apple	1.7%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
6 AstraZeneca	1.5%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
7 Microsoft	1.5%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
8 Visa	1.5%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
9 Novo Nordisk	1.4%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
10 Safran	1.4%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
上位10銘柄	18.7%	現金等	5.9%	

業種別構成比



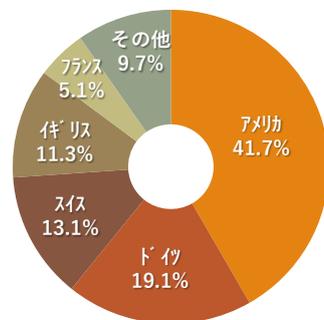
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年1月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリューストックファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



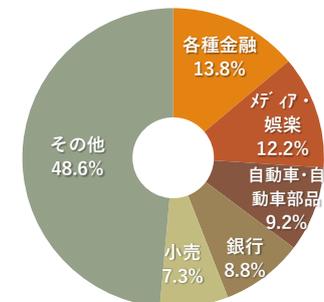
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 CREDIT SUISSE	5.2%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
2 GLENCORE	5.0%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
3 ALPHABET	5.0%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
4 BNP PARIBAS	5.0%	フランス	銀行	フランス大手銀行
5 DAIMLER	4.9%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
6 BAYER	4.6%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
7 ALLIANZ	4.0%	ドイツ	保険	総合保険大手
8 CNH INDUSTRIAL	4.0%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
9 BERKSHIRE HATHAWAY	3.5%	アメリカ	各種金融	保険事業を主軸とする持株会社
10 JULIUS BAER	3.3%	スイス	各種金融	プライベートバンク
上位10銘柄	44.5%	現金等	2.9%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年1月末現在>

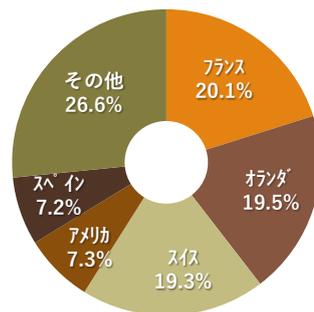
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



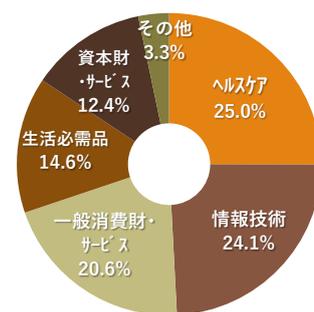
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML HD	7.2%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 ROCHE HD	5.2%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
3 PROSUS	4.2%	オランダ	一般消費財・サービス	消費者向けインターネット
4 NOVO NORDISK	4.0%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
5 INDITEX	3.7%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
6 ACCENTURE	3.4%	アメリカ	情報技術	総合コンサルティング会社
7 ESSILORLUXOTTICA	3.4%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
8 LVMH	3.3%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
9 HEINEKEN	3.2%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
10 AMADEUS	3.0%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
上位10銘柄	40.6%	現金等	6.0%	

業種別構成比(マザーファンド)



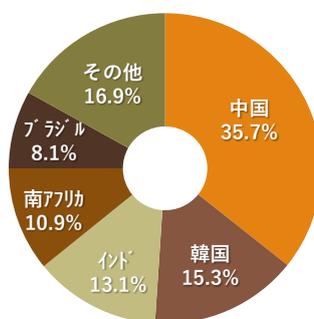
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年2月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



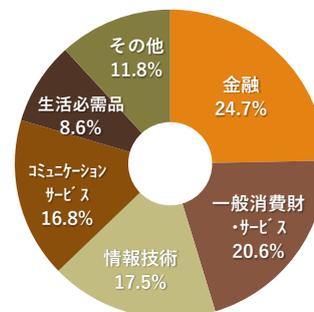
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 SAMSUNG ELECTRONICS	7.4%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
2 ALIBABA	6.2%	中国	一般消費財・サービス	電子商取引サイト
3 PING AN INSURANCE	6.1%	中国	金融	保険大手
4 HOUSING DEVELOP. FINANCE	5.5%	インド	金融	インド最大の住宅開発金融会社
5 TSMC ADR	5.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー
6 NASPERS	5.2%	南アフリカ	一般消費財・サービス	メディア。中国TENCENTの大株主
7 NC SOFT	4.2%	韓国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
8 NETEASE	4.1%	中国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
9 AUTOHOME ADR	3.6%	中国	コミュニケーションサービス	自動車情報サイト
10 AIA	3.3%	香港	金融	生保・金融サービス
上位10銘柄	50.9%	現金等	1.1%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年2月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

ご家族様のための口座開設資料のご請求について

口座開設資料につきましては、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話 または 弊社ホームページの「資料請求・問い合わせ」よりご請求いただいております。

その際は、口座開設されるご家族本人様のお名前でご請求ください（複数部を希望される場合も、お一方ずつご請求ください。）※

大変お手数をおかけいたしますが、ご請求の際はどうぞよろしくお願いいたします。

※口座開設にあたって、あらかじめ契約に関するご案内書面を交付している旨の記録を残す必要があるためです。

◀ 口座開設の記入説明の動画もございます ▶

弊社ホームページに記入説明の動画もございます。ご家族様が口座開設される際にご利用ください。

記入説明動画（成人開設用）：<https://unionam.co.jp/flow/index.html#anc1>

未成年のお客様の定期定額購入について

未成年のお客様が定期定額購入をご利用いただく場合、毎月 3,000 円から始めることができます。

お子様の教育費や将来の資産形成のために、毎月コツコツ積立投資を始められてはいかがでしょうか？

口座開設資料のご請求は弊社ホームページまたは業務管理部（TEL:0263-38-0725）で承っております。

【定期定額購入サービス新規お申込み時】

- ◎ お申込みされるお客様が未成年である場合は 3,000 円以上 1 円単位 で購入できます。
- ◎ 自動引落としにご指定いただける金融機関は、ご本人様（お子様）名義の口座に限ります。

【引落とし金額の変更について】

定期定額購入開始時に未成年であったお客様が、成人された後に金額変更をご希望される場合、変更後の金額は 10,000 円以上 1 円単位でご指定いただきます。※

※ 成人された後に引落とし金額を変更されない限り、未成年時にお申込みいただいた購入金額での継続が可能です。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。